

◆タイトル:創作のための宝石

◆サブタイトル:アイテムとしての使い方、擬人化のヒント

◆キャッチコピー:地学なんて知るか

◆企画概要:

宝石について説明を入れつつ、創作のネタになりそうなことを纏めた本二ページで一つの鉱石について説明をします。

モース硬度や、屈折率、産地などの基本情報や、石にまつわる逸話や実話などもまとめ、

さらに、セーラームーンに使われている銀水晶など、実際に漫画やアニメに使われている例を挙げて説明します。

その他、擬人化の性格づけに使えるようなバックグラウンドも掘り下げて行きます。

◆企画者プロフィール:

小学二年生の頃から、小石を拾ってきて色を塗って遊んでいました。それを木の実や宝石に見立て、一人でごっこ遊びをして遊んでいました。それ以外では本を読んですごしていました。

中学に入ってからは、宝石や鉱物にまつわる小説を読んだり、標本を集めたりし始めました。このときから、何か物語を作る人間になりたいとぼんやりと夢を持ち始めました。

高校に入ってからは、標本収集に拍車がかかり、年に一度は大阪最大のミネラルショーに通うようになりました。そして、関連書籍にも本格的に手をつけ始めました。と言っても、なかなか難しい内容では頭が追いつかないので、細々と分かるところだけ、自分が面白いと思う所を拾い読みしていました。そんな事をしているうちに、なんとなくは基本的な知識をみにつけました。

進路を決めてからは、図鑑を眺めながら物語らしきものを思い描いていました。

今の学校に通うようになってからは、本懐を遂げて小説を書き散らしています。短編とはいえ、鉱石にまつわる物語を書くなど、隙があれば鉱石ネタをねじ込んでいます。いまでも、機会さえあれば、どんな小物だろうが、鉱石を小説中に出そうというスタンスで書いています。ので、継続的に情報をいれては、物語にできはしないかと日々頭を捻っています。ですから、創作と鉱石については、一過言あると言ってもいいと思います。

◆読者ターゲット

●メインターゲット:クリエイター志望者

スピリチュアル・パワーストーンに興味のある人

●サブターゲット:十代~二十代の男女 小中学生

女性寄りのサブカル・オタク層(「宝石の国」「スティーブンユニバース」)

地学の棚に行かない人 創作に鉱石を出したいと思っている人

◆企画のねらい:

小道具、アイテム、擬人化などで扱われている鉱石を、創作のネタとして紹介し、いまままで、宝石や鉱石に興味の無い人への入り口になる。

他には日本の漫画「宝石の国」や日本でも人気なカートゥーン「スティーブンユニバース」で鉱石に興味を持った人に他の鉱石も知ってもらおう。

◆企画の背景:

第12回出版甲子園

宝石や鉱石がアイテムとして扱われていながら、どうしてもメインに扱われている小説や漫画が少ないと、常々思っていました。そのためには、創作の手引きのようなものがあれば、扱う物語が増えるのではないかと思いました。あわせて、最近漫画の「宝石の国」やカートゥーンの「スティーブンユニバース」の人気に乗っかり、今まで興味の無かったオタク層にも広がって欲しいと考え、企画しました。

◆類書との差別化:

似ている本

「ゲームシナリオの為のファンタジー辞典 知っておきたい歴史・文化・お約束」 SB
クリエイティブ

「ときめく鉱物図鑑」 山と溪谷社

宝石という観点から、創作物のネタになるような事をまとめるので、「ファンタジー辞典」とジャンルが大きくかぶることはないです。簡単な図鑑のような体裁は「ときめく鉱物図鑑」に似ていますが、創作においてどう使われているかなどの記述は少ないです。

似ているというより、上記二冊のハイブリットと言えます。

◆企画者の要望:

ソフトカバー 128P 本文110P A5版 全頁4C 各2~3P 55項目

雑学のコーナーや趣味教養のコーナーに置けるような本

表紙はテーブルの上で男の子が鉱石を眺めて、女の子が本を読んでいる。

女性向けよりの絵

参考イラストレーター: 須藤真澄 様 (HP: <http://www.catnet.ne.jp/masumi/>)

表紙はつや消しでざらっとした紙

説明に使う鉱石の写真をたくさん使いたい。たとえば、形の説明や産地の違いを説明する際。

◆構成案:

本書の使い方

一章 五大宝石 これがなくちゃ始まらない というか、主に使われる者たち

宝石の中の宝石 ダイヤモンド

何よりも代えがたい赤 ルビー

色とりどりの奇跡 サファイア

美しい緑の代名詞 エメラルド

皇太子の名を冠する宝石 アレキサンドライト

二章 小粒でも美しく、花を添える石たち

東洋で愛された緑 ひすい

人の身近にあり続ける石 水晶

碧玉というわりには ジャスパー

その輝きはダイヤにも匹敵する ジルコン

ルビーであることを強いられた石 スピネル

静電気を帯びる石 トルマリン

シェリー酒の色 トパーズ

十字軍の護符 ガーネット

ヒマラヤ生まれの青い石 カイヤナイト

第12回出版甲子園

形も色もなにもかも ぶどう石
見間違い、誤解され アパタイト
オリーブの宝石 ペリドット
シラーの美 長石
自然の十字架 十字石
ティファニーの宝石 タンザナイト
アユイの青い石 ユークレース
古くからの染料としても ラピスラズリ
色とりどりの美しい柱 ベリル
青く透き通る秋の空 青天石
蛍光と劈開 蛍石
二重になる線 カルサイト
緑の同心円 孔雀石
武器としても宝石としても 黒曜石
お守りとして トルコ石
エメラルドに匹敵するが 緑銅鉱
丹塗りと水銀 辰砂

三章 有機物の宝石

貝の血液 真珠
海の赤い宝石 珊瑚
樹液と虫と 琥珀
黒髪にはえる 鱉甲
優しいアイボリー 象牙
工芸品にも シェル
独特の緑の輝き アンモライト
木の化石と喪に服す ジェット
化石の過程で 珪化木

四章 メタリックな輝き、人間の活動に欠かせない鉱石

少量の銀 プラチナ
王族の特権 金
抗菌作用と輝きと 銀
人間の技術の飛躍 鉄
重要な資源の一つ 銅
毒性と放射線 鉛
水が腐りにくい 錫
レアメタル チタン
猛毒の銀の滴 水銀
青みおびたメタリックな輝き 銅藍
赤い染料 赤銅鉱
愚者の金 黄鉄鉱
かつては銀にまさった アルミニウム
幾何学文様の申し子 ビスマス
たとえるならば日本刀 輝安鉱

◆見本原稿:

二章 小粒でも美しく、花を添える石たち 人の身近にあり続ける石 水晶 より

水晶 【Crystal】

水晶 日 水精 中(昔) 玻璃 日(仏教)

カーチャ 【काच】 サンスクリット

クリスタル 【Crystal】 英

クォーツ 【Quartz】 独

クリスタロス 【crystallos】 義

硬度 7

色 無色・赤・紫・白・ピンク・黒・黄

へき開 なし

条痕 白

化学組成 SiO_2

光沢 ガラス光沢

比重 2.65

屈折率 1.544-1.553

弱点 急激な温度変化 熱

リード

水晶、というか石英は古くから人間に使われている鉱石。石器時代から、石器として使われたほか、穴をあけてビーズとしても使われており、装飾としても、武器としても使われていました。石英の中でも、透明なものを水晶と呼ぶ。地球を覆う、地殻の大分部を占めている鉱石です。

百年かけて一ミリ成長する、水の精と書いて水精と読むなど、ロマンチックな要素も多い鉱石です。見た目にも美しさと、種類の豊富さから大変人気のある鉱石の一つです。

屈折率は高くないので、ブリリアンカットなどのカットをされることは少なく、ほとんどが丸く磨かれているか、六面体、勾玉などの、透明感を前に出したものが多いです。その他、細かい結晶が群生しているクラスターの状態などで、取引されています。ローマ時代には特別で、効果な宝石であり、コップや花瓶など、冷たい液体を入れる容器として使われていました。

パワーストーンとして

非常に優れた浄化能力を持つ石です。その浄化作用により、他の石が吸収したマイナスのエネルギーを浄化してくれます。

浄化方法はクラスターや水晶粉末の上に浄化したい石を置きます。もちろん、部屋に置いておいたり、粉末をもったりすることも効果的です。

その他には、調和・強化などの効果もあり、他の石との相性もいいのです。

クラスター、粉末、球状によっても、エネルギーの効果に違いなどがあり、粉末になるとより効果が広範囲に広がるようです。

浄化以外にも、ペンデュラムの錘部分に使われたり、精神集中に使うワンドの先端につけたり、お守りにしたり。非常に力が強い石として、幅広く使われています。

産地によっても力の強さが違うといわれ、アメリカのセドナやアーカンソーで産出されるものが力が強いといわれている。理由はネイティブアメリカンの聖地と呼ばれる岩山に近く、パワーをもらっているからだそう。その他、ヒマラヤ産の水晶も同様に力が強いといわれています。

工業利用について

石器として使われた以降は、ほとんど装飾品、装身具、食器などに使われて来た水晶ですが、現在では工業製品に使われています。一番有名なものは、腕時計でしょう。クウォー

第12回出版甲子園

ツ時計と書かれているその事です。機械式時計の300倍以上の高精度持っているのです。このクォーツは、振動子として使われています。この振動子は大量の情報を同時にすばやく処理するための、正確な基準信号として使われています。携帯電話、テレビ、ビデオ、デジタルカメラ、パソコンなどに使われています。その重要さから「産業の塩」と呼ばれています。

主に使われているのは、天然で掘り出されているものよりは、人口で作られた水晶が使われています。自然に出来るものより、品質が均一でより工業利用がしやすいのです。

逸話・伝説

平安時代の陰陽師阿倍清明は、母からもらった二つの遺品として水晶の玉と黄金の箱を持っていました。この水晶玉は耳に当てるとあらゆる鳥獣の言葉が分かるようになるという代物だった。これのおかげで、清明は五位を賜り、陰陽頭に任命されました。

仏教では七宝の一つとして数えられています。七宝とは、仏教において貴重とされる七つの宝をさします。

グリム童話「水晶玉」では悪い魔法使いを倒す鍵が野牛のなかに隠されていた水晶玉です。魔法使いの前で、水晶玉をかざすと、魔法使いの力が吸い取られてしまうのです。

ギリシア神話のぶどう酒の神ディオニソスは、従者のトラと散歩をしていましたが、大変不愉快な気分だったので、気晴らしに散歩中に一番に出会った者をトラに食わせてやろうと考えていました。運悪く出くわしてしまったのは、月の女神アルテミスの神殿におまわりに行く途中の、アメシストというニンフでした。トラに食い殺されようとするアメシストを見たアルテミスは、アメシストを石にして助けました。

自分の行いに後悔したディオニソスは、その石にぶどう酒を注いで、美しい紫色の宝石に変えました。そして、「この宝石を身に着けたものは、悪酔いすることはなくなる」と宣言し、その石がアメシストになりました。

産地

どこでも採れるので、絞り込めませんが、ブランドともいえる産地があります。

ブラジル

良質なものは高い透明度が高く、まるで氷のように透明。そのため、クラックによる虹色が見やすいです。

中国

たくさんの細い針のような水晶が密集したクラスターが魅力的。針水晶とも言われています。

アメリカ ハーキマー州

両錐型で、ダイヤモンドと呼ばれるほどの美しさを持っていることから、ハーキマーダイヤモンドと、水晶なのだからダイヤモンドなのだからわからない名前がついています。

日本

日本で産出される双晶で角度が約85度になっているV字型の物を日本式双晶といいます。その他、夫婦水晶やハート水晶とも。

形 写真

自然の物は、他の物に邪魔されて、ほとんどが自形を失っています。それによって、色々な形や特徴を持った水晶ができるのです。

クラスター 群晶ともいいます。一つの基盤に集まって形成されます

レーザー 細長い形のもので。

レムリア 細長い形のものに、成長線がはっきりのと残った物をさ

- します。
- カテドラル 階段状に折り重なるようになっているのが特徴。カテドラルは大聖堂という意味です。
- 両錘 結晶の両側がとがっているものを指します。
- ファーデン 真ん中に一本糸のような線が入っているもの。ドイツ語で糸という意味
- 骸骨 見た目は短い両錘形。内部の模様が写真のような幾何学文様に似たものが見られます。
- キャンドル マダガスカル産のミルキークォーツによく見られます。小さな結晶が垂れたロウに見えることからこの呼ばれ方をしています。

こんな使われ方

セーラームーンの銀水晶・ファイナルファンタジーのクリスタルなど、聖なる重要アイテムとして使われたり、世界樹の迷宮など、武器やアイテムを製作ができるゲームではただの素材アイテムだったり、扱いの落差が激しい。魔法使いのキャラクターが水晶のアイテムを持っていたり、魔法のアイテムだったり、お約束な扱いともいえる。

物語の舞台としては、大きな水晶の晶洞などは神秘的なもの、美しいものとして扱われる。だいたい特大サイズの水晶が柱のように立ち並ぶ。

水晶自体はありふれているため、そのものズバリの水晶の扱いは軽いですが、設定が追加されている場合、高価なもの貴重なものになりやすい。キャラクターが装身具としてつけている場合も、不思議水晶がほとんど。

高貴な身分のキャラクターはそもそもつけていません。例外として、和風ファンタジーなどでは、巫子などが水晶の勾玉をつけている事も。時代ものでは、珊瑚の簪や鼈甲の櫛に押されているのか、あまり出てきません。仏教の七宝のせい、仏関係の場合が多いです。仏像の手に置いてある宝玉や玉眼などがそうです。

西洋もので使うことはそんなに無いので、逆に使うのも手ですが、あまりゴージャスな雰囲気は出せないのもあまり、中流のキャラが持っているくらいがちょうどいいでしょう。

水晶 【Crystal】



名称	水晶 日 水精 中(昔) 玻璃 日(仏教) カーチャ サンスクリット クリスタル 【Crystal】 英 クォーツ 【Quartz】 独 クリスタロス 【crystallos】
硬度	7
色	無色・赤・紫・白・ピンク・黒・黄
へき開	なし
条痕	白
化学組成	SiO ₂
光沢	ガラス光沢
比重	2.65
屈折率	1.544 - 1.553
弱点	急激な温度変化 熱

水晶、というか石英は古くから人間に使われている鉱石。石器時代から、石器として使われたほか、穴をあけてビーズとしても使われていた。装飾としても、武器としても使われていました。石英の中でも、透明なものを水晶と呼ぶ。地球を覆う、地殻の大部分を占めている鉱石です。

百年かけて一ミリ成長する、水の精と書いて水精と読むなど、ロマンチックな要素も多い鉱石です。見た目にも美しさ、種類の豊富さから大変人気のある鉱石の一つです。

屈折率は高くないので、プリアンカットなどのカットをされることは少なく、ほとんどが丸く磨かれているか、六面体、勾玉などの、透明感を前に出したものが多いです。その他、細かい結晶が群生しているクラスターの状態などで、取引されています。

ローマ時代には特別で、効果な宝石であり、コップや花瓶など、冷たい液体を入れる容器として使われていました。



此石乃由天然之石經打磨而成，其色澤與質地均極佳，誠為收藏之佳品也。



此乃天然之紫水晶，其色澤鮮艷，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之紫水晶，其色澤鮮艷，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之紫水晶，其色澤鮮艷，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此石乃由天然之石經打磨而成，其色澤與質地均極佳，誠為收藏之佳品也。



此乃天然之紫水晶，其色澤鮮艷，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之紫水晶，其色澤鮮艷，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



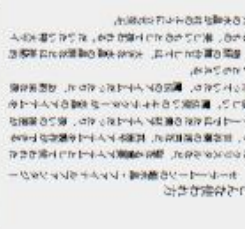
此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



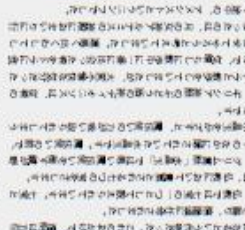
此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。



此乃天然之白水晶，其色澤純白，質地堅硬，為寶石中之瑰寶也。

頁

頁

頁

頁